

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 臨床検査「パニック値」を用いた患者予後予測に関する研究 』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 東邦大学医学部 臨床検査医学講座 職位・氏名 准教授 吉澤 定子

【研究の背景および目的】

パニック値とは、生命が危ぶまれるほど危険な状態にあることを示唆する異常値とされます。国内外で一律の基準はなく、臨床検査医学会が「臨床検査パニック値運用に関する提言書」を報告していますが、臨床現場で使用されているパニック値は各医療機関によって異なっている現状です。本研究では、東邦大学医療センター大森病院において設定されたパニック値及び臨床検査医学会が提示するパニック値に該当する患者において、どのような項目が予後不良の因子となるか、解析を加えます。本研究を実施することにより、パニック値のより適切な運用が可能になり、生命が危ぶまれるほど危険な状態にある患者の診療に大きく貢献する可能性が期待できます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医学部倫理委員会の承認を得て実施するものです。
2022年6月1日～2023年2月28日の期間に、東邦大学医療センター大森病院において下記に該当する20歳以上の患者を研究対象者とします。通常診療により得られる臨床情報・検査値を後方視的に収集する観察研究です。

- ・パニック値に該当する患者
 - ・パニック値近似値に該当する患者
- ※ 透析患者のクレアチニン値は除く

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

【利用する者の範囲】

◎ この研究の責任者:

医学部 臨床検査医学講座・准教授・吉澤 定子

○ この研究の分担者:

医学部 学生 仁科 亮

大森病院 臨床検査部・臨床検査技師・佐藤信博

大森病院 臨床検査部・臨床検査技師・青砥彩

大森病院 臨床検査部・臨床検査技師・大竹洋輔

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医学部 臨床検査医学講座

職位・氏名 准教授 吉澤 定子

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方(患者様及び3親等以内の代諾者の方等)は、下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医学部 臨床検査医学講座

職位・氏名 准教授 吉澤 定子

電話 03-3762-4151